

石川先生 おすすめ本

『南極越冬記』

西堀 栄三郎／著 岩波書店 (1958)

氷雪と烈風の南極大陸にて、日本初の越冬事業をなしとげた第一次南極越冬隊。その隊長で登山家・探検家であり、科学者・技術者でもあった西堀栄三郎による手記。

南極探索の創意工夫や未知を既知に変えていく南極探検の喜びについての語りに、時に基地生活や「宗谷」の運行状況などへの不満が募るなど、南極での越冬の様子が当時の日記をもとに赤裸々に綴られている。

『地球の科学 大陸は移動する』

竹内 均・上田 誠也／著 日本放送協会 (1964)

地球科学の全分野について解説する一冊。いちどは忘れさられた大陸移動説とその復活にかかわる事柄が解説されるなど、地球科学の革命的転換について記されている。

石川先生の「私の進む道を決めた一冊」。

『大陸と海洋の起源』

アルフレッド・ウェゲナー／著 竹内 均／訳 講談社 (1980)

1912 年に気象学者アルフレッド・ウェゲナーが大陸移動説について初めて論じた古典的科学書の新訳。地質学的・古気候学的・古生物学的情報から、大陸がかつてひとまとまりの大陸、「超大陸」であったことについて論じていく。

